

# 福祉会サポーターズ

(題字：そよかぜ広場 吉田美和子さん)

平成 30 年 6 月 26 日発行 第 2 号

## ■ ご挨拶

理事長 小泉 正壽

日頃より、当法人の活動にご理解ご協力を賜り、ありがとうございます。「福祉会サポーターズ」を開始して、2 回目の活動報告となります。私たちの活動をご確認いただければ幸いです。

宮城県聴覚障害者情報センターは 4 年目を迎えました。情報の発信、相談支援、みみサポサロンなどの事業のほか、手話通訳者や要約筆記者の養成研修などを行ってまいりました。センターが聴覚障害理解を広める大切な拠点としての役割を果たしていけるよう、引き続き、努力してまいりたいと思います。

当会を支えていただいております賛助会員の皆様におかれましては、今後もより一層のご支援ご協力をお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

## ■ 平成 30 年度定時総会を開催しました

5 月 26 日（土）13 時 30 分より、宮城県聴覚障害者情報センター（みみサポみやぎ）の研修室において、平成 30 年度（第 6 回）定時総会を開催しました。構成団体（正会員）のうち 6 団体にご出席をいただき、29 年度の事業報告や会計決算報告、30 年度の事業計画や会計予算案、30・31 年度の役員選任案の 5 つの議事がすべて満場一致で承認されました。

## ■ 平成 29 年度 基調報告 ※事業報告書より抜粋

本会の主たる事業のひとつである宮城県聴覚障害者情報センター（みみサポみやぎ）が開所し、丸 3 年が経過した。センターの運営は軌道に乗り、昨年度から始まった福祉会サポーターズ（賛助会員）の募集も軌道にのり始め、賛助会員 44 名、特別会員 17 名の協力があった。

宮城県聴覚障害者情報センターは、宮城県の受託事業として ①情報発信、②相談支援、③防災啓発、④意思疎通支援者の育成、⑤当事者の生涯学習・社会参加支援などの事業を行い、手話動画やみみサポ通信をはじめ、各地で開催されるみみサポサロンも好評を得ている。意思疎通支援者の養成・研修においては、関係機関や各分野の専門家にご指導をいただき、手話通訳者登録試験（手話通訳者全国統一試験）において 2 名、要約筆記者登録試験（全国統一要約筆記者認定試験）において 2 名の



## 平成 30・31 年度 役員体制

理事長	小泉 正壽（県聴障協）
副理事長	伊藤 史子（そよかぜ）
事務局長	宮澤 典子（宮通研）
財政部長	中島 康志（親の会）
事業部長	武田 浩一（難聴協）
広報部長	松崎 丈（文字の都仙台）
理事	平間 弘（県聴障協）
理事	浅野 順一（県聴障協）
理事	安田 恵（県聴障協）
理事	瀬谷 和彦（難聴協）
理事	及川麻衣子（宮通研）
理事	早坂 洋子（友の会）
理事	松本 隆一（センター施設長）
監事	千葉 明（県聴障協）
監事	宮東 優子（宮通研）



合格者を輩出することができた。

みやぎ通訳派遣センターの運営においては、市町村が実施している意思疎通支援事業の受託とそれ以外の機関からの依頼に対応して意思疎通支援者を派遣した。意思疎通支援者の派遣と養成・研修を同一の法人が担うことにより、現場の課題を養成や研修に活かすことができた。もうひとつの法人独自事業として、宮城県手話通訳指導者育成講座を開催した。講座の一環として、県内の行政や社協

の協力を得て 3ヶ所の手話入門講座で指導実習を行った。県内の聴覚障害者の手話通訳ニーズを充たすためには、稼動可能な手話通訳者の増員が不可欠である。受講者を増やすためにも指導者を増やして県内の複数か所で養成講座や研修会を開催していきたい。

厚生労働省が平成 29 年度から聴覚障害者情報提供施設における電話リレーサービス事業を予算化した。平成 30 年度はさらに予算を増額し実施施設の拡大を予定している。本会においても ICT を活用した支援のあり方について学習を深め、県内の聴覚障害者の通信における利便性の向上につながる事業について検討を進めている。

## ■平成 29 年度 事業報告 ※事業報告書より抜粋

### 1. 法人事業



- ①定時総会（第 5 回）平成 29 年 5 月 27 日（土）
- ②理事会（全 3 回）
- ③宮城県障害者社会参加推進協議会（全 2 回）
- ④全国聴覚障害者情報提供施設協議会  
平成 29 年 6 月 8～9 日（水戸市）
- ⑤研修等への職員派遣（のべ 6 回）

### 2. 手話通訳指導者育成事業（日本財団助成事業）

平成 27 年度から始まり 3 年目。手話を指導できる者および手話通訳を指導できる者の増員を目標として、前年度受講した 7 名が受講を継続。8 回の対面学習会などの実施のほか、県内 3 会場で初心者向け手話入門教室にて指導実習を行った。



### 3. みやぎ通訳派遣センター事業

年間の総取扱い件数は 1,247 件。約 60%を市町村の意思疎通支援事業が占めている。意思疎通支援事業では、手話通訳は 28 市町、要約筆記は 14 市町と契約を交わし、主に医療や教育に関する内容で派遣している。意思疎通支援事業以外の派遣では、催し物等に派遣することが多かった。

【 みやぎ通訳派遣センター 】

	手話通訳	要約筆記
意思疎通支援事業以外	401	103
意思疎通支援事業 (広域含む)	705	38
合計	1,106	141

### 4. 宮城県受託事業

#### ①宮城県聴覚障害者情報センター運営事業

来所者は前年度より増加した。研修室や交流スペースの利用のほか、研修室の活用が進んでいる。プロジェクターなどの備品の館外貸し出しも行い、年間 38 回の備品貸し出しを行った。

実習の受け入れも行った。宮城県立小牛田農林高校の学生を2日間の「職場体験」で受け入れた。また、日本福祉教育専門学校社会福祉学科手話通訳コース（東京都）の学生を10日間「手話実習」で受け入れ、センターの業務を体験させ、みみサポサロンで一部手話通訳実習などを行った。



相談支援は、本人からの相談によるものが56.9%で、メールやFAXによる相談を中心に来所による相談が多かった。同じ聴覚障害を持つ相談員を配置していることで、つらさや不安などを手話で語るために来所するケースや、他機関の支援者と協働して相談者の気持ちを汲みながら支援を行うケースを「情緒」とした。主の支援が他機関に移ったケースを「見守り」とした。

情報提供として、情報紙「みみサポ通信」を月1回発行、ホームページでは手話動画、イベント情報などを発信した。聴覚障害関連情報をトピックスで取り上げるなど、常に新しい情報を提供し、幅広く利用してもらえるホームページを目指している。また、29年度は市町村担当者向け説明会を実施し、聴覚障害者情報受信装置「アイ・ドラゴン4」の仕様変更等についてお伝えしたほか、聴覚障害者と日常生活用具についての情報提供を行った。

センターで「みみサポサロン」を2回開催し、県内各地からのべ35名の参加があった。みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会からご協力をいただき「MMWINについて」の講話等を行った。

出前講座は、前年度に引き続き、障害者差別解消法に関連した行政職員向けの研修に多く利用された。センターの事業概要ほか、聴覚障害の特性やコミュニケーション等を盛り込んだ。

【 宮城県聴覚障害者情報センター運営事業 】

来所者数	3,361名（月平均280名）
相談件数	総数 551件（新規77件） 情報共有 132件 情緒 48件 見守り 46件
ホームページ	アクセス総数 126,979 動画再生 122,779 ブログ 153,323
サロン数	2回（センター開催分） 参加者 のべ35名
出前講座	7回

②被災聴覚障害者情報等支援事業

東日本大震災により被災した聴覚障害者の生活再建に向けた相談支援や聴覚障害者が安心して生活できる環境づくりなどを行っている。

情報提供では、センターで配信している手話動画を半期ごとにまとめたDVDを制作し貸し出しする取り組みを継続し、のべ60本の貸し出し利用があった。

相談支援は、訪問や同行などアウトリーチ型で対応したものが約23%となった。「情報提供」では、補聴器や日常生活用具、当事者団体等の社会資源の紹介が中心。必要な情報を提供することで、自ら申請を行ったり、集まりに出向いたりできるように対応した。対人関係や周囲とのコミュニケーションの問題を含めた「生活問題」は、地域包括支援センターなど本人以外の支援者からノウハウの提供や連携を求められるケースが多く、聴覚障害者本人の気持ちを伺いながら、本人と支援者の信頼関係を構築できるよう対応している。

【 被災聴覚障害者情報等支援事業 】

相談件数	総数 248件（新規67件） 情報提供 44件 生活問題 43件 情報共有 20件
サロン数	14市町 全29回 参加者 のべ391名
出前講座	5回



みみサポサロンは 14 市町において全 29 回開催し、参加したのべ数は、平成 28 年度より若干の増で 391 名となった。サロンの実施回数や内容については、市町ごとに行政担当者と共に検討した。交流を柱として、講話や座談会を行う機会を設けた。29 年度は「防災」と「地域の魅力の再発見」を主軸に掲げた。東日本大震災から 7 年、それぞれが辛い体験を経て教訓を次に活かそうと考えながらも、防災意識が薄れつつあること

に危機感を感じたことが理由である。一方、サロンに楽しさや親しみやすさを感じてもらえるよう、観光資源や地域の歴史・文化などの講話を企画し、気仙沼のホヤぼーや、岩沼市の岩沼係長、大崎市のパタ崎さんに、それぞれ協力してもらうことができた。気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部が実施する「消防もしも研修会」も、年 1 回開催のペースで継続されている。

つながりの構築では 5 回の出前講座を実施した。町民向けや地域ボランティア向けの講座などで活用していただくことができた。12 月に実施した西多賀・金剛沢 SBL（仙台市地域防災リーダー）会主催の講座では、聴覚障害者 3 名に震災体験を語ってもらい、グループごとに今後の取り組みを話し合い、発表してもらうなど、参加型の出前講座を企画・実施し好評だった。



災害時における聴覚障害者支援に関する取り組みは、東日本大震災で得られた教訓などをもとに「有事のあるべき姿」「平時のあるべき姿」を想定し、どのような取り組みにつなげるべきかを検討するための作業を進めている。当事者団体等から十分に意見を伺う体制を作り、よりよい支援手法の検討や、災害時における聴覚障害者情報提供施設の役割を整理しながら「宮城方式」の検討を行いたい。

### ③手話通訳者養成研修等事業

#### ア 手話通訳者養成研修事業

	内容	受講者数	備考
養成事業	手話通訳者養成講座（基本応用）全 54 講座	13	実践進級者 12 名
	（実践）全 27 講座	8	修了証交付者 8 名
	登録試験直前対策講座 全 2 回（6 時間）	14	
	登録試験（全国統一試験を導入）	16	合格者 2 名
	合格証書授与式・合格者オリエンテーション	1	要約筆記者と合同
	手話通訳者養成担当講師リーダー養成研修会	1	福島県
研修事業	登録証交付式・新登録者オリエンテーション	4	要約筆記者と合同
	現任研修 全 4 回	のべ 99	
	手話通訳士試験対策講座 全 3 回（9 時間）	8	合格者 1 名

#### イ ろうあ者社会生活訓練事業

	日程	会場	内容（講師）	参加者数
1	8/19（土）	美里町	からだのお手入れ（NPO 法人日本セラピー普及会）	5
2	10/28（土）	利府町	天気の一般的知識（仙台区気象台気象防災部調査課）	44

3	2/10 (土)	みみサポ	終活セミナー (株式会社菊地葬儀社)	33
---	----------	------	--------------------	----

### ウ 字幕入り映像ライブラリー貸し出し事業

	内容	備考
登録者数	身体障害者手帳保持者 62名	新規登録 8名含む
	健聴者 39名	新規登録 10名含む
	団体等 6団体	新規登録団体 1団体含む
貸出数	DVD 501	
	VHS 56	
	館内閲覧 (DVD) 100	

### エ 難聴者のトータルコミュニケーション教室開催事業 ※生活支援講座はろうあ者社会生活教室と合同開催

	日程	会場	内容	参加者数
1	9/2 (土)	栗原市	言語聴覚士による講話	15
2	11/18(土)	気仙沼市	手話講座	9
3	2/10 (土)	白石市	交流	6

### オ 手話通訳者派遣ネットワーク事業 ※件数は派遣センター事業参照

手話通訳等を必要とする聴覚障害者が都道府県間を移動する場合に、目的地において必要となる手話通訳者等を確保するためのネットワークの整備および維持を行った。

#### ④要約筆記者養成研修事業

	内容	受講者数	備考
養成事業	要約筆記者養成講座 (前期) 全 18 講座	手書き 8 / PC12	修了者 手書き 7 / PC10
	登録試験直前対策講座 全 6 回	手書き 5 / PC6	
	登録試験 (全国統一認定試験を導入)	手書き 3 / PC6	合格者 手書き 1 / PC1
	合格証書授与式・合格者オリエンテーション	手書き 1 / PC 1	手話通訳者と合同
	指導者養成研修 全 3 ケール	要筆 1 / 難聴 1	東京都
研修事業	登録証交付式・新登録者オリエンテーション 現任研修 全 3 回	手書き 2 / PC 1 のべ 40	手話通訳者と合同 奉仕員も含む

## ■ 福祉会の取り組みをホームページでご覧ください

福祉会の様々な取り組みは、下記のホームページでご覧いただけます。ぜひご意見やご感想などお寄せください。

**宮城県聴覚障害者福祉会 (団体名で検索できます!)**

みやぎ通訳派遣センターのページもあります (様式のダウンロードもご利用ください)

**宮城県聴覚障害者情報センター 「みみサポみやぎ」で検索してください**

みみサポブログは毎日更新! 手話動画は毎週月曜日に更新しています

手話通訳や要約筆記付きのイベント情報のページが人気です

※ 情報をお寄せ下さい! info@mimisuppo-miyagi.org または FAX022-393-5502

## ■平成 29 年度 福祉会サポーターズ 特別会員メンバー紹介

みみ・はな・のど北仙台クリニック 院長 古川 加奈子 様	草刈耳鼻科 院長 草刈 千賀志 様	やすだ耳鼻咽喉科・アレルギー科クリニック 院長 安田 京 様
宮城県立病院機構 理事長 西條 茂 様	宮城県医師会 ヒアリングセンター 医師 沖津 卓二 様	小松亀一法律事務所 弁護士 小松 亀一 様
NHK手話ニュースキャスター 木村 晴美 様	宮城教育大学 教員 菅井 裕行 様	宮城県議会 議員 岸田 清実 様
株式会社プラスヴォイス 様	株式会社 三技協 様	一般社団法人 聴サポ 様
吉村 進 様	宮澤 典子 様	半澤 啓子 様
特定非営利活動法人 みやぎ・せんだい中途失聴難聴者協会 様		

## ■福祉会サポーターズのご案内

宮城県内のすべての聴覚障害者の暮らしをよりよいものにするため、すべての聴覚障害者がいきいきと暮らせる社会をめざして、きこえやことばのバリアをなくすための事業に取り組みます。

**個人会員**

一口 1,000 円 (何口でも可)

**特別会員**

一口 10,000 円

特典内容	個人会員	特別会員
1) 情報紙「福祉会サポーターズ」(A3 両面/年 1 回発行)	○	○
2) 年次報告書の送付 (総会資料をまとめた冊子状のもの)	—	○
3) 総会資料および年次報告書への会員名掲載	—	○
4) 公式ウェブサイトへの会員名掲載	—	○
5) 「宮城県聴覚障害者福祉会を支援しています」という文言を 対外的に利用可能	—	○

### 【お申し込み方法】

①ゆうちょの払込用紙を使う

口座／02220-6-121362 名義／一般社団法人宮城県聴覚障害者福祉会

②窓口・ATMで支払う

※下記の口座にお振込みいただき、お名前・ご住所・電話 (FAX) を事務局までご連絡ください。

名義／一般社団法人宮城県聴覚障害者福祉会

\*郵便振替の場合／18100 11904391

\*銀行から振込の場合／ゆうちょ銀行 八一八支店 普通 1190439

## 一般社団法人宮城県聴覚障害者福祉会 事務局

980-0014 宮城県仙台市青葉区本町 3 丁目 1-6 宮城県聴覚障害者情報センター内

電話 022-393-5501 FAX 022-393-5502

Mail secretariat@miyacho-fukushi.jp